

# 「大柵小学校の八月踊り伝承活動の取組」

## 1 学校名

大和村立大柵小学校

## 2 学年・人数

1年生から6年生（計18人）

## 3 日時・場所

### （1）練習の日時・場所

平成28年9月15日（木） 大柵公民館  
平成28年9月21日（水） 大柵小学校体育館  
平成28年9月27日（火） 大柵小学校体育館

### （2）発表の日時・場所

平成28年10月2日（日） 第68回大柵小・校区合同大運動会

## 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

### （1）名称

八月踊り（はちがつおどり）

### （2）由来

大柵集落では八月踊りを踊らなかった期間が長いことあったらしく，70歳半ば以上の高齢者以外の人々は唄も踊りも知らない人がほとんどであった。そこで，7，8年前に大柵壮年団を中心に「大柵集落八月踊り保存会」が発足し，現在は保存会を中心に幅広い年代に八月踊りが伝承され，アラセツ，シバサシ，豊年祭等で八月踊りが復活し，多くの人々が参加し，輪になって踊っている。

### （3）構成等

大運動会の発表種目であることから，誰もが踊りやすい「あしなれ」「しゅんかねくわ」「六調」の3つの踊りを選び，指導していただいている。

## 5 保存会や地域との連携の具体

地域の老人クラブの会長さんへ活動の趣旨・ねらいを伝え，会員の参加を依頼している。また，学校便り等で保護者や地域の方々に運動会への参加を呼びかけ，運動会当日も本番前に放送で多くの方々の参加を呼びかけている。八月踊りの様子は，学校便りやホームページ等で情報発信をしている。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

八月踊りを学校・校区合同大運動会の発表種目の1つにし，児童の踊りの輪に保護者や地域の人々も加わり，多くの方々が参加できるようにすることで，集落の人々と交流を深めることができるようにした。また，創意・総合的な学習の時間に老人クラブの方々を講師として招聘し，手を取りながら優しく教えていただくことで，児童に伝統文化に興味・関心をもたせ，郷土を愛する心を養うことができるようにした。

## 7 取組の様子



「体育館での練習風景」



「第68回大柵小・校区合同大運動会」

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

### 【児童】

- ・ 老人クラブの皆さんに優しく声をかけていただきながら、楽しく練習することができた。
- ・ 八月踊りをやさしく教えていただき楽しかった。

### 【職員】

- ・ 八月踊りを学校で学ぶ取組は、運動会で児童と校区民と一緒に楽しく踊ることができ、奄美の文化を継承する良い機会となっている。幼い頃に身に付けた唄や踊りは大人になっても覚えているものである。地域の良さを児童に伝えるこの八月踊りの取組は、大柵小学校の良き伝統として今後も継続し次の世代に引き継いでいければいいと思う。

### 【老人クラブの方】

- ・ 毎年子どもたちと楽しく触れ合い、身近で子どもたちの成長を見られてとてもうれしい。
- ・ 子どもたちと会うのは楽しい。少しずつ成長する姿を確認できる。
- ・ 子どもたちに教えるだけでなく、自分たちも懐かしく思いながら教えている。